

授業科目名	日 本 国 憲 法			担当教員	柳 井 圭 子	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (2)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	憲法改正が議論される現代、日本国憲法の基本構造、全体像から憲法の姿と本質を理解するとともに、法の世界での物事の考え方について学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法とは何か、どのような理念に基づき制定されているかを理解し、日本国憲法の構造について説明することができる。 2. 憲法が国民に対してどのような権利を保障しているかを理解し、社会で生じている人権問題を憲法の保障の観点から検討することができる。 3. 憲法の保障する人権を具体的に保障するための国の統治形態について理解し、保健医療福祉行政の在り方について述べるができる。 					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	<p>本科目は、主要概念の一つである「環境」に位置づけられている。養護教諭2種免許を申請する際に修得しておかなければならない科目でもある。</p> <p>ディプロマポリシーの第一には「人間の尊厳と権利を擁護する力」が掲げられている。日本国憲法では、人権とは何か、保障とは何か、そして人権を守るための仕組みはどのようなものであり、個人としてどうしなければならないか等憲法にある理念とそれを政治や国はどのように守り保障しているかを理解し、個人として、また保健医療の専門家としてどうすべきかを考える力をつけることを目指している。</p>					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎	○				
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	講義ガイダンス 法とは何か、 国家と法との関係	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井	
2	憲法の起源 立憲主義	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井	
3	象徴天皇制と国民主権	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井	
4	基本的人権の尊重	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井	
5	法の下での平等	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井	
6	精神的自由	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井	
7	経済的自由・人身の自由	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井	

8	社会権	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井
9	参政権・国務請求権	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井
10	国会・内閣	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井
11	裁判所	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井
12	地方自治・財政	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井
13	平和主義	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井
14	憲法改正	講義	(予習) テキストの指示箇所を読み要点を整理する。(復習) ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。	60分	柳井
15	あらためて憲法を考える	講義	(予習) 筆記試験の振り返り。	60分	柳井
先行履修科目					
テキスト		毛利徹：グラフィック憲法入門 補訂版. 新世社, 2016.			
参考文献		池上彰：超訳日本国憲法. 新潮新書, 2015. 長谷部恭男：憲法とは何か. 岩波新書, 2006. 西村祐三編：判例で学ぶ日本国憲法（第二版）. 有信堂, 2016. 他、講義で紹介します。			
評価方法		筆記試験（80%）、提出物（10%）、課題レポート（10%）			
メッセージ		法の学習は、条文を覚えることと思いませんか。一人で生きていくことができれば法は必要ないかもしれませんが。しかし、多くの人とともに生きるには、決まりごとを決めておくことが必要になります。無用な争いを避けるため、また争いが生じたときに解決するため、法はそのための道具です。その道具の中で、社会の根幹を決めているのが憲法です。社会の中で身近に起こる様々な問題を例に法を学んでみませんか。多くの法律の根拠となる日本国憲法は、何であるか、そして何が書かれているのか、一緒に考えてみませんか。日本国憲法の改正の是非が議論されています。答えとこれからの未来は、皆さんの憲法に対する理解と自らの権利を守るという意思にかかっています。			